

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年10月15日

【四半期会計期間】 第13期第2四半期(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

【会社名】 株式会社アークコア

【英訳名】 ArkCore, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 正 渡 康 弘

【本店の所在の場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所  
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第2四半期 累計期間	第13期 第2四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日	自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日	自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日
売上高 (千円)	1,285,399	1,782,090	2,874,681
経常利益 (千円)	31,717	30,376	6,781
四半期(当期)純利益 (千円)	17,855	13,799	10,481
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		13,799	10,481
純資産額 (千円)	502,343	489,962	495,950
総資産額 (千円)	1,181,576	1,713,097	1,564,362
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.65	8.37	6.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	42.51	28.54	31.64
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	798	125,765	100,193
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,610	6,202	145,648
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	188,441	53,413	357,530
現金及び現金同等物の 四半期末残高 (千円)	744,268	1,127,222	954,222

回次	第12期 第2四半期 会計期間	第13期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日	自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.04	10.43

(注) 1. 四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。なお、第12期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間に代えて前第2四半期累計期間について記載しております。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、新株予約権が存在しますが、希薄化効果を有しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、前年度第2四半期は四半期財務諸表を作成していましたが、四半期連結財務諸表を作成していなかったため、財務数値に関する当第2四半期との対比を記載しておりません。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2015年4月6月期GDP実質成長率がマイナスとなり、大企業において企業収益が改善される傾向にあるものの、財貨・サービスの輸出は大きく減少しております。また、個人消費は小売業の販売額、新車販売台数の減少に伴い、弱含みに推移しておりますが、雇用情勢は有効求人倍率は上昇し、若年層の完全失業率が減少しております。

当社グループは、前連結会計年度と同じくバイク事業のみの単一セグメントとなっております。

当社におけるバイク事業の買取台数は5,126台(前年同期比0.4%減)、販売台数は5,256台(前年同期比2.7%減)となり、前連結会計年度まで続いていた前年同期比での台数の減少傾向に歯止めがかかりつつありますが、販売単価は前年同期比4%減、粗利単価は同1%減となっております。また、バイク買取に係る広告費単価は同14%増加しております。

以上の結果、前年同期比で売上高及び売上総利益は減少する一方、販売費及び一般管理費は増加しており、収益面では厳しい状況が続いております。

平成26年9月に連結子会社とした株式会社福田モーター商会は、バイクの販売台数は新車169台(前年同期比12.0%減)、中古車79台(前年同期比8.1%減)となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高1,782百万円、営業利益33百万円、経常利益30百万円、四半期純利益13百万円となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末において総資産は1,713百万円となり、前連結会計年度末と比較して148百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより現金及び預金が173百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末において負債は1,223百万円となり、前連結会計年度末と比較して154百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより長期借入金が83百万円増加し、買掛金が79百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末において純資産は489百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円減少しております。四半期純利益13百万円の計上による利益剰余金の増加と配当金の支払額19百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は1,127百万円となっております。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は125百万円となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益30百万円の計上、仕入債務の増加による増加額79百万円、売上債権の減少による増加額17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は6百万円となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は53百万円となりました。収入としては、長期借入れによる収入250百万円、支出としては、長期借入金の返済による支出166百万円、社債の償還による支出10百万円、配当金の支払額19百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,880,000
計	7,880,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,970,000	1,970,000	名古屋証券取引所 (セントレックス)	単元株式数は100株でありま す。
計	1,970,000	1,970,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年8月31日		1,970,000		232,825		

(6) 【大株主の状況】

平成27年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
正渡 康弘	東京都葛飾区	456,766	23.19
齋藤 文男 (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	6 Martin Place、シンガポール共和国 (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	434,000	22.03
株式会社リトモ・クリエイト	東京都新宿区四谷二丁目9番15号	95,500	4.85
株式会社ゲオホールディングス	愛知県名古屋市中区富士見町8番8号	50,000	2.54
山田 浩司	千葉県柏市	47,719	2.42
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	35,500	1.80
森田 威	東京都新宿区	33,100	1.68
野村證券株式会社 (常任代理人 株式会社三井住友 銀行)	東京都中央区日本橋一丁目9番1号 (東京都千代田区丸の内一丁目3番2号)	24,400	1.24
伊藤 登志子	神奈川県横浜市鶴見区	18,200	0.92
花房 太郎	奈良県北葛城郡上牧町	16,400	0.83
計		1,211,585	61.50

- (注) 1 上記のほか、当社所有の自己株式321,067株(16.30%)があります。  
2 正渡康弘氏及び山田浩司氏の持株数には、アークコア役員持株会を通じて実質的に保有する株式数を含めて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 321,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,648,700	16,487	
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	1,970,000		
総株主の議決権		16,487	

【自己株式等】

平成27年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アークコア	東京都足立区椿 二丁目2番2号	321,000		321,000	16.29
計		321,000		321,000	16.29

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	985,885	1,159,785
売掛金	70,147	52,865
商品	271,762	299,958
貯蔵品	4,376	4,608
繰延税金資産	9,076	5,265
その他	41,725	34,925
貸倒引当金	342	342
流動資産合計	1,382,630	1,557,065
固定資産		
有形固定資産	125,410	102,572
無形固定資産	1,596	1,247
投資その他の資産	54,725	52,213
固定資産合計	181,731	156,032
資産合計	1,564,362	1,713,097
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,092	102,779
1年内償還予定の社債	10,000	
1年内返済予定の長期借入金	278,981	289,800
未払法人税等	3,966	14,246
賞与引当金	8,979	7,427
その他	100,850	94,129
流動負債合計	425,870	508,383
固定負債		
長期借入金	642,542	714,752
固定負債合計	642,542	714,752
負債合計	1,068,412	1,223,135
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	260,535	260,535
利益剰余金	94,635	88,648
自己株式	93,045	93,045
株主資本合計	494,950	488,962
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	495,950	489,962
負債純資産合計	1,564,362	1,713,097

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	1,782,090
売上原価	1,179,434
売上総利益	602,655
販売費及び一般管理費	568,805
営業利益	33,850
営業外収益	
受取手数料	1,398
雑収入	908
その他	222
営業外収益合計	2,530
営業外費用	
支払利息	5,970
その他	33
営業外費用合計	6,004
経常利益	30,376
税金等調整前四半期純利益	30,376
法人税、住民税及び事業税	13,409
法人税等調整額	3,166
法人税等合計	16,576
少数株主損益調整前四半期純利益	13,799
四半期純利益	13,799

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,799
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	
四半期包括利益	13,799
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	13,799

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成27年3月1日  
至平成27年8月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	30,376
減価償却費	11,055
賞与引当金の増減額(は減少)	1,551
受取利息及び受取配当金	198
支払利息	5,970
為替差損益(は益)	24
売上債権の増減額(は増加)	17,281
たな卸資産の増減額(は増加)	8,346
仕入債務の増減額(は減少)	79,687
その他の流動資産の増減額(は増加)	815
その他の流動負債の増減額(は減少)	6,873
その他	949
小計	129,143
利息及び配当金の受取額	171
利息の支払額	6,537
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	2,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,765
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	900
有形固定資産の取得による支出	7,949
貸付金の回収による収入	2,697
出資金の払込による支出	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,202
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	166,971
社債の償還による支出	10,000
配当金の支払額	19,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	24
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	173,000
現金及び現金同等物の期首残高	954,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,127,222

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更等 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

該当事項はありません。

( 四半期連結損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
広告宣伝費	63,104千円
給与手当	153,697千円
賞与引当金繰入額	7,427千円

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
現金及び預金	1,159,785千円
預入期間が3か月を超える定期預金	32,563千円
現金及び現金同等物	1,127,222千円

( 株主資本等関係 )

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 定時株主総会	普通株式	19,787	12	平成27年2月28日	平成27年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、バイク事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円37銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	13,799
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	13,799
普通株式の期中平均株式数(株)	1,648,933
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年10月13日

株式会社アークコア  
取締役会 御中

### 監査法人コスモス

代表社員 業務執行社員	公認会計士	太	田	修	二	印	
業務執行社員	公認会計士	櫻	井	真	由	美	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アークコアの平成27年3月1日から平成28年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アークコア及び連結子会社の平成27年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。